



トステム株式会社

リビング建材 ウッディーライン 可動間仕切り 引戸タイプ 取付け説明書

- 本製品は、2枚連動タイプは壁厚（160～182mm）、3枚連動タイプは壁厚（202～224mm）に取り付けられます。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 本体へはもたれ掛からないようにしてください。本体がはずれ、転倒しケガの原因となります。
- 本体は把手をもって操作してください。本体と枠のすき間や、本体間のすき間で手や指をはさみケガをするおそれがあります。
- 枠固定金具の調整範囲（調整幅 7mm）を超える開口部については必ず柱・間柱・まぐさを入れ調整範囲を満たすようにしてください。
- 枠固定金具が柱に固定されていることを確認してください。固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因になります。

■施工上のお願い

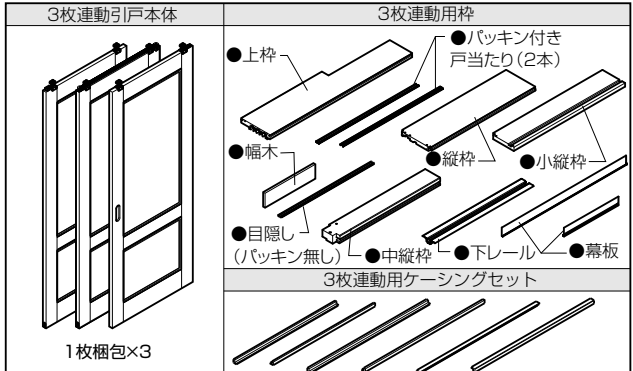
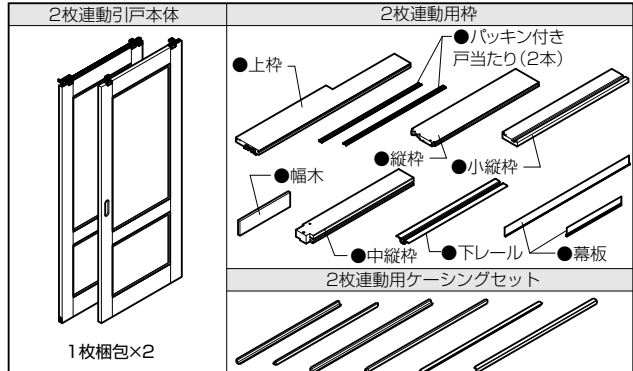
- 本製品は上吊り方式のため、梁またはまぐさで重量を受けます。必ず本体重量に耐える断面寸法の梁またはまぐさをご使用ください。

間口	本体重量	梁・まぐさの断面寸法（幅×高さ）
9尺	75kg	105mm×300mm以上
12尺	100kg	105mm×360mm以上

- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、枠の垂下がり・ゆがみ等の原因となります。本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠を取り付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
- かい木は合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 枠を取り付ける際、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は枠固定金具を調整して柱とあてて、内装ボードを必ず縦枠につきあててください。つきあてができない場合は、かい木を入れてください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- ガイドピンは本文中の指示通り、正確な位置に取り付けてください。本体の開閉操作に支障が出る原因になります。
- 本体にダンブロンテープ・ガムテープ・クラフトテープ等の粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープ等粘着力の弱いものを使用してください。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



■本体用部品 <本体同梱>

			2枚運動	3枚運動
引手付本体に同梱 (2枚運動) (3枚運動共)	L字ガイドセット	L字ガイド	—	1個
		取付けねじ 皿タッピンねじ φ4×25	—	2本
	ガイドピボット		2個	2個
	下部ガイドストッパーセット	ガイドストッパー	1個	1個
		取付けねじ 皿タッピンねじ φ4×20	2本	2本
	調整用六角スパナ		1個	1個
引手無本体 (2枚運動) 中央本体 (3枚運動) に同梱 (ベルト部に張付け)	連結ボルト		1個	2個
	枠連結ねじ 皿タッピンねじ φ4×20		1本	—

■枠用部品 <枠同梱>

		2枚運動	3枚運動
ねじセット	組立てねじ皿小ねじ M4×50	5本	5本
	上枠取付けねじ トラスタッピンねじφ4×60	12本	24本
	縦枠取付けねじ ナベタッピンねじφ4×40	6本	6本
	下レール固定用 皿タッピンねじφ3.5×20	7本	9本
ガイドピンセット	ガイドピン	1個	1個
	取付けねじ ナベタッピンねじ φ3.5×20	2本	2本

※予備4本含む

■開口部の作り方

■開口部寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+5mm

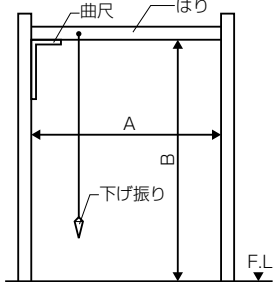
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

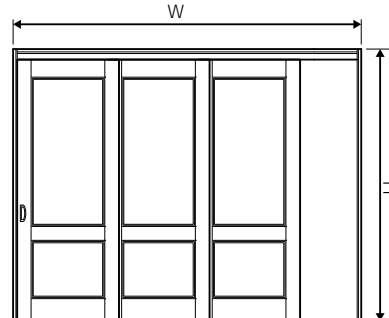
※本製品は、上吊り方式を採用しています。はり(まぐさ)は、強度を要するため、必ず本体重量に耐える断面寸法(上記表)をご利用ください。

間口	本体重量	梁・まぐさの断面寸法(幅×高さ)
9R	75kg	105mm×300mm以上
12R	100kg	105mm×360mm以上

●開口寸法



●製品寸法



■取付け詳細

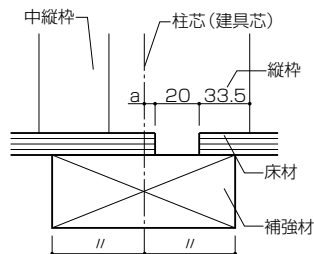
1 開口部の作成・床の施工

①製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作成します。

②下レール用溝の加工位置を決めます。

※補強材が入っている事を確認してください。

③床を施工します。

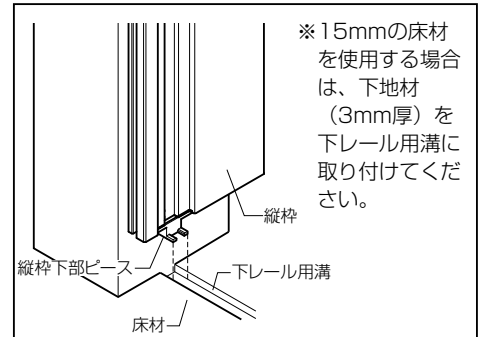
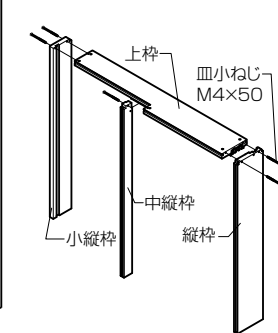


(単位: mm)

機種	a
2枚運動	28.5
3枚運動	49.5

2 枠の組立て・取付け

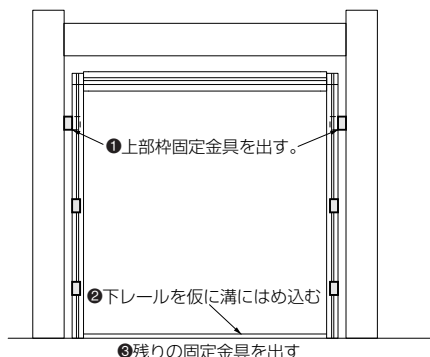
①図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で組立てます。



※15mmの床材を使用する場合は、下地材(3mm厚)を下レール用溝に取り付けてください。

3 縦枠に取り付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等にしてください。

※上部枠固定金具を先に出し、仮固定させ、下レールを溝にはめ込んだ後、残りの枠固定金具を出してください。



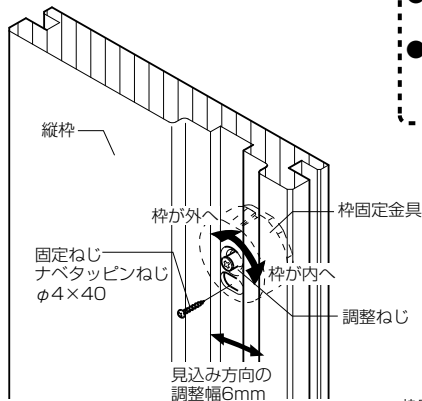
④枠の垂直を確認してください。

⑤固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長丸中央部分より締め付けてください。

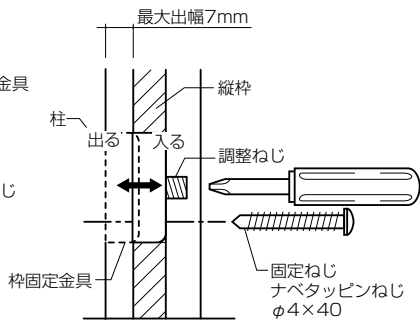
⑥枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじで固定してください。

⑦枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取り付けしている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。

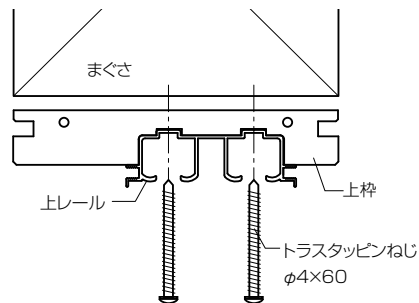
⑧再度、枠の垂直を確認してください。



お願い
●枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
●必ず内装ボードは縦枠につきあてて施工してください。つきあてが出来ない場合は必ずかい木を入れてください。



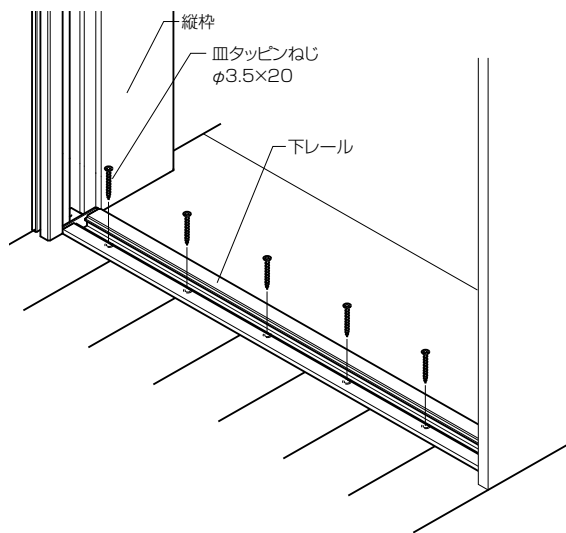
⑨上レールの穴から、躯体にねじ止めします。



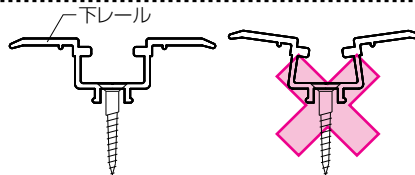
※ジョイントレール(短いレール側)は、あとで本体を吊り込みますのでねじ止めしないでください。

⑩下レールの取付け

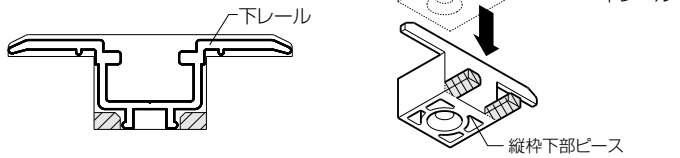
下レールをねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で固定します。この時、下レールと縦枠下部ピースをはめ込んでからねじ止めしてください。下レールの浮き上がりや本体開閉不具合の原因となります。



お願い
※下レールを取り付けるねじは、締めすぎないようにしてください。下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

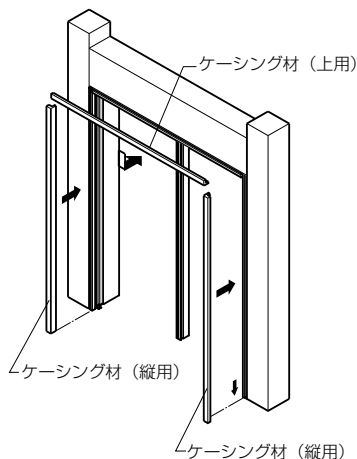


※下レールの足(斜線部)が縦枠下部ピースの足(斜線部)の間に下図のように取り付けてください。



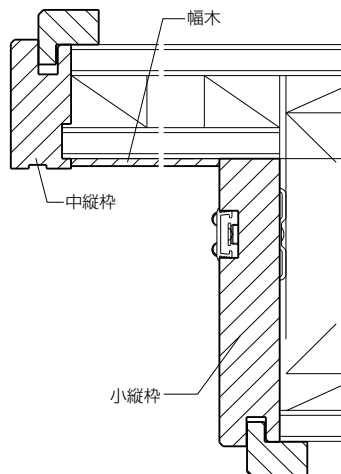
③ ケーシング材の取付け

- 壁材、床材を仕上げた後、ケーシングを取り付けます。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシングへケーシングを差し込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。



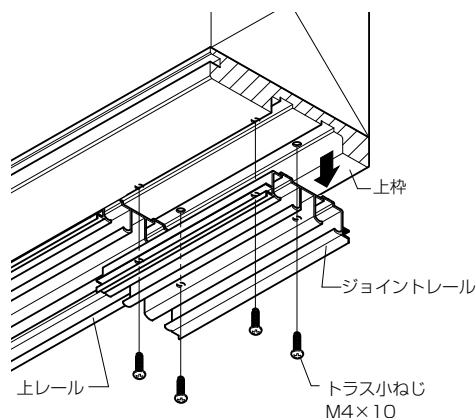
④ 幅木の取付け

- ※小壁のボードと床材を見切るために幅木が同梱されています。現場に合わせてご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは200~300mmです。



⑤ ジョイントレールの取り外し

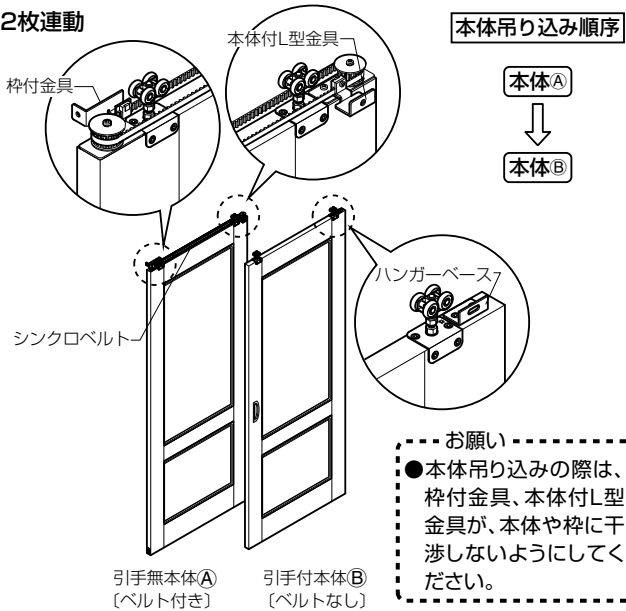
- トラス小ねじを外し、上枠のジョイントレールを外します。(本図は2枚連動の場合)



6 本体の吊り込み

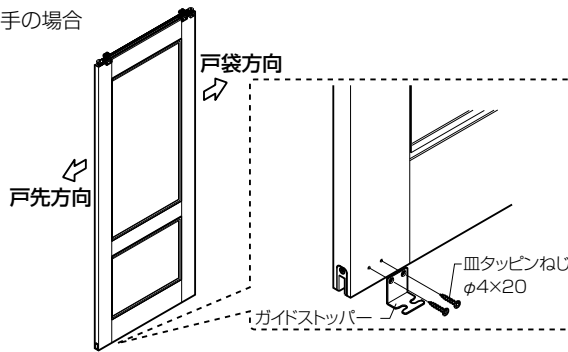
※本図は左勝手の場合です。

■2枚連動

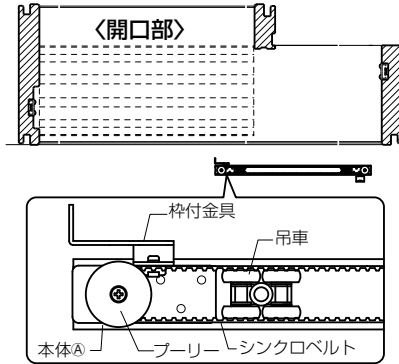


①本体Aにガイドストッパー（同梱）を取り付けます。

※左勝手の場合



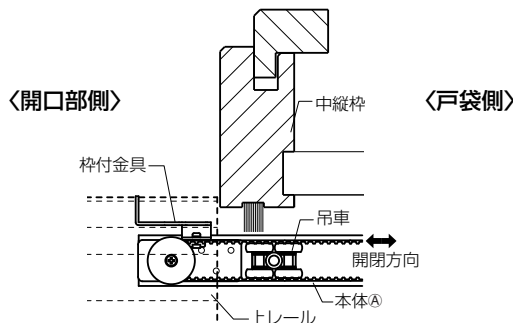
②本体A上部のベルトに付いている杵付金具を開口部のプーリーと吊車の間に移動させます。（下図は左勝手の場合）



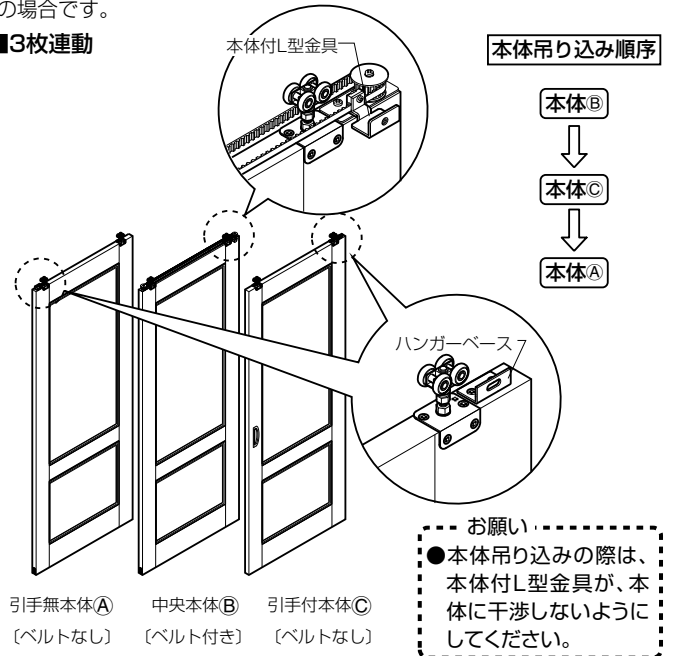
③本体Aを吊り込みます。杵付金具が中縦枠より開口部側にくる位置で上レールに吊り込みます。

※吊車が開閉方向に向いていることを確認してください。（その他本体も同様）

※杵付金具が中縦枠より、戸袋側に入り込まないように注意してください。中縦枠をキズつけるおそれがあります。

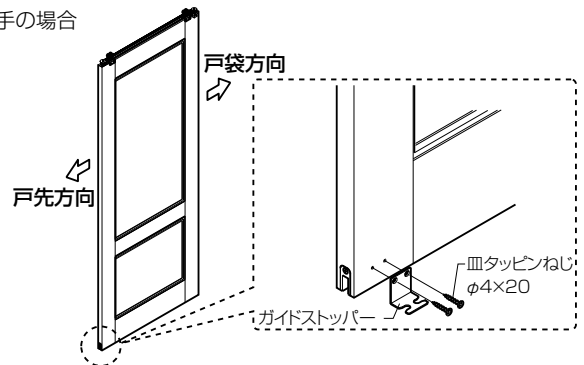


■3枚連動



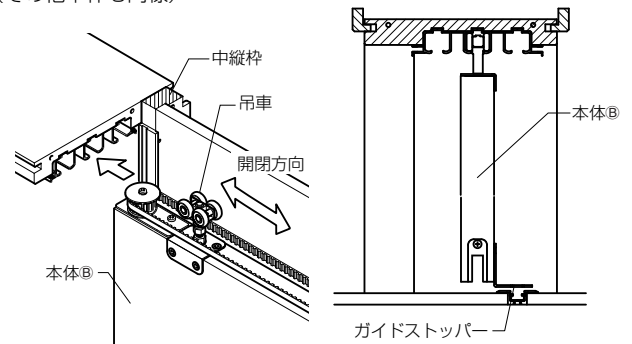
①本体Bにガイドストッパー（同梱）を取り付けます。

※左勝手の場合

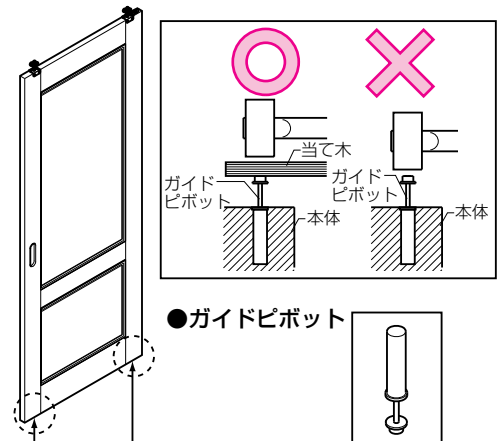


②本体Bを、上レールに吊り込みます。

※吊車が開閉方向に向いていることを確認してください。（その他本体も同様）



③本体Cにガイドピットを取り付けます。ガイドピットの樹脂部に当て木をし、本体下部の加工穴に、たたき込みます。



■2枚連動

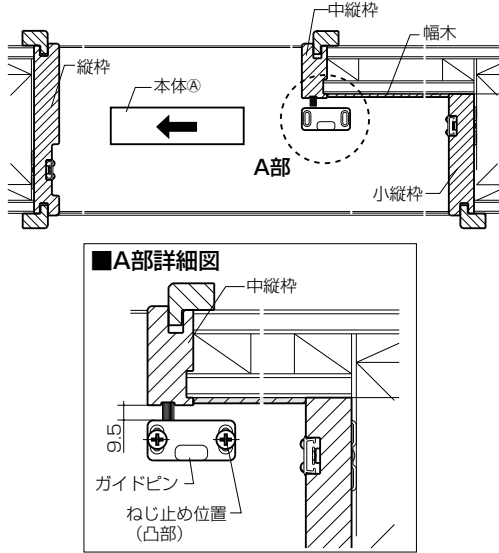
④ガイドピンを取り付けます。

●本体Aを図の様に開口部側へスライドさせガイドピンを枠同梱のねじ（ナベタッピンねじφ3.5×20）で固定します。

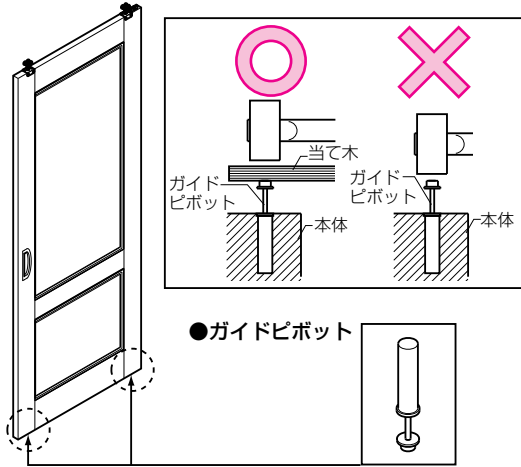
※本体の開閉操作に影響が出ますので、正確な位置に取り付けてください。

●図の位置及び向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴（2ヶ所）の凸部の位置にねじ止めしてください。

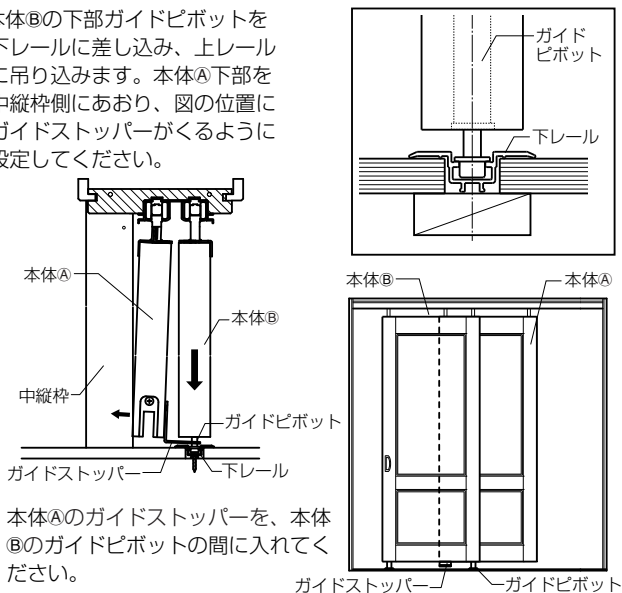
※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と対称の位置となります。



⑤本体Bにガイドピボットを取り付けます。ガイドピボットの樹脂部に当て木をし、本体下部の加工穴に、たたき込みます。



⑥本体Bの下部ガイドピボットを下レールに差し込み、上レールに吊り込みます。本体A下部を中縦枠側にあり、図の位置にガイドストッパーがくるように設定してください。

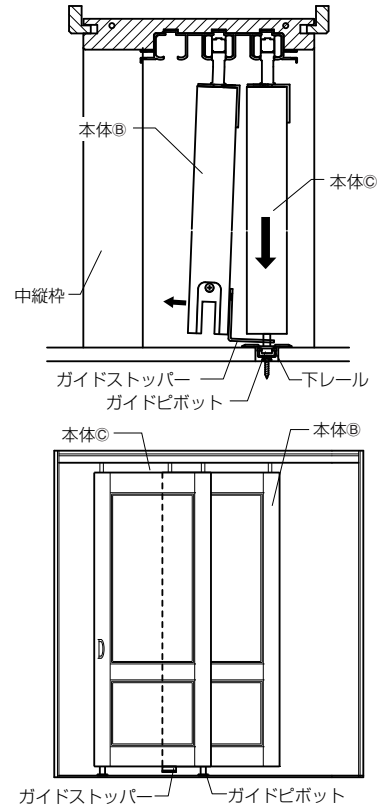
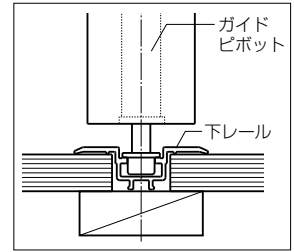


本体Aのガイドストッパーを、本体Bのガイドピボットの間に入れてください。

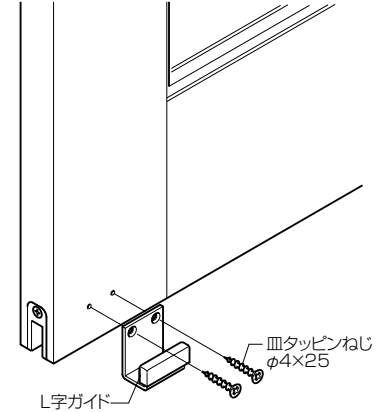
■3枚連動

④本体Cの下部ガイドピボットを

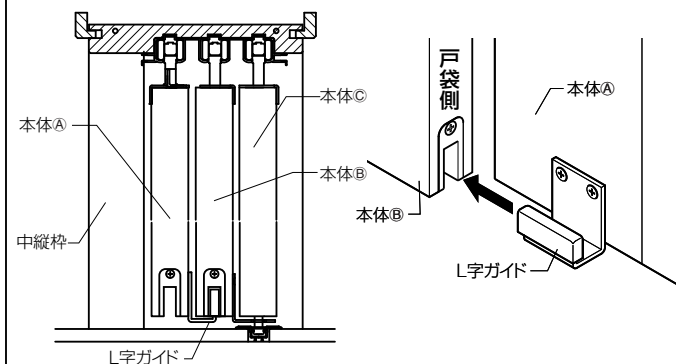
下レールに差し込み、上レールに吊り込みます。本体B下部を中縦枠側にあり、図の位置にガイドストッパーがくるように設定してください。



⑤本体AにL字ガイド部品（同梱）を取り付けます。

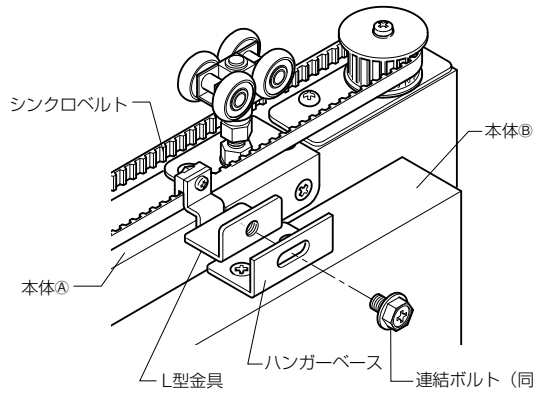


⑥本体Aを吊り込みます。その際、本体B下部溝に、L字ガイドをスライドさせて吊り込んでください。

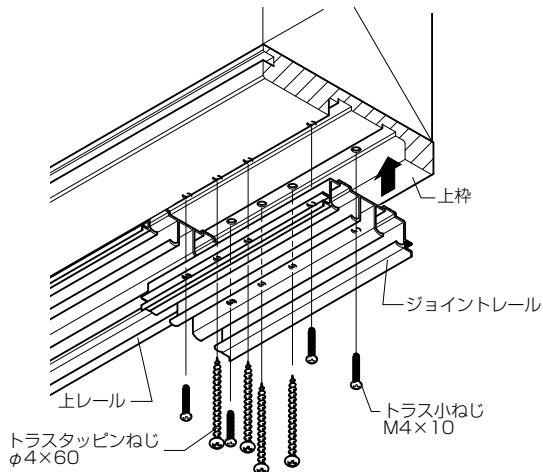


■2枚連動

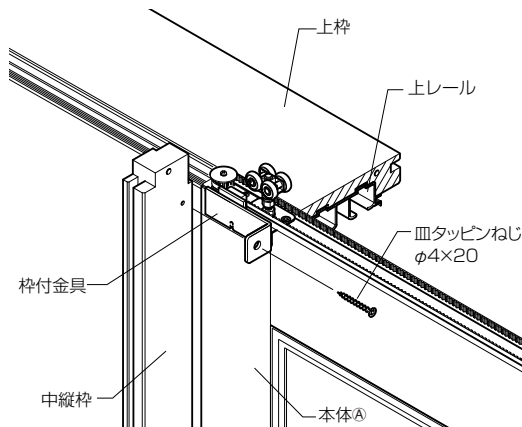
⑦本体Aと本体Bを連結させます。ハンガーベースをシンクロベルトのL型金具を重ね合わせて、ボルトで固定してください。



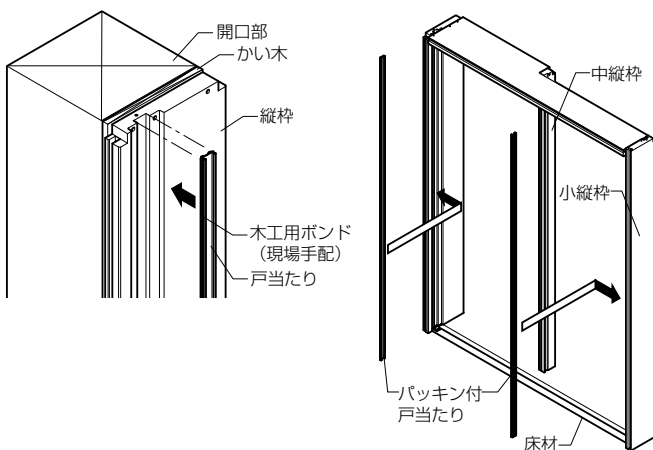
⑧ジョイント部に段差ができないよう、ジョイントレールを取り付けます。



⑨枠付金具を中縦枠に取り付けます。



⑩戸当たりりに木工用ボンド（現場手配）を付けて、溝をふさぎます。



■3枚連動

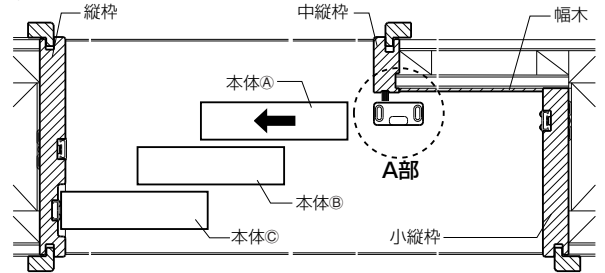
⑦ガイドピンを取り付けます。

●本体Aを図の様に開口部側へスライドさせガイドピンを枠に同梱のねじ（ナベタッピンねじφ3.5×20）で固定します。

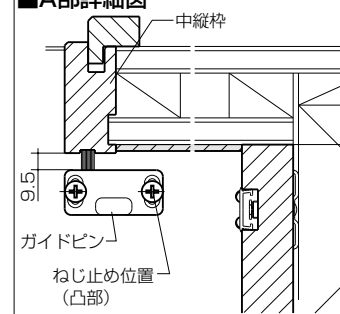
※本体の開閉操作に影響が出ますので、正確な位置に取り付けてください。

●図の位置及び向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴（2ヶ所）の凸部の位置にねじ止めしてください。

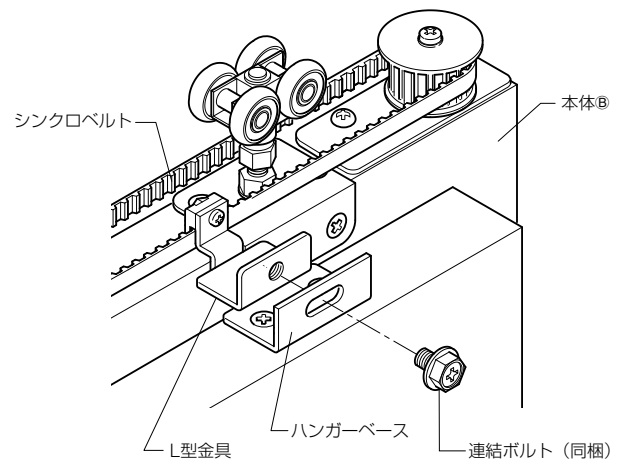
※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と対称の位置となります。



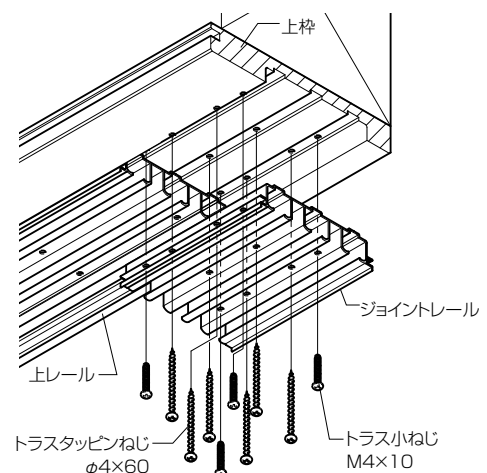
■A部詳細図



⑧本体A、Cを、本体Bと連動させます。ハンガーベースとシンクロベルトのL型金具を重ね合わせて、ボルトで固定してください。

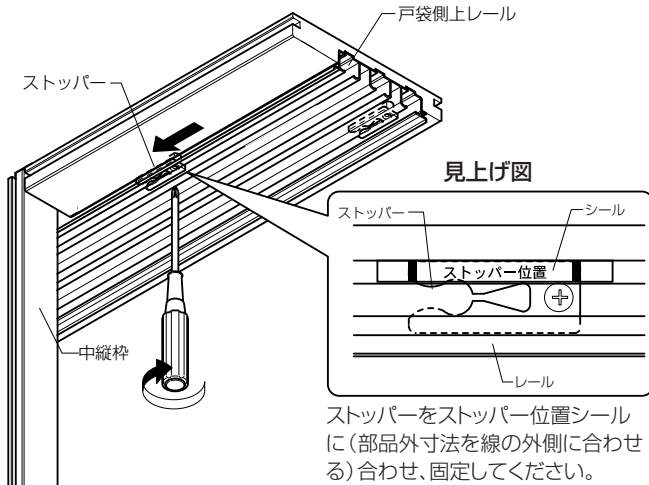


⑨ジョイント部に段差がないよう、ジョイントレールを取り付けます。

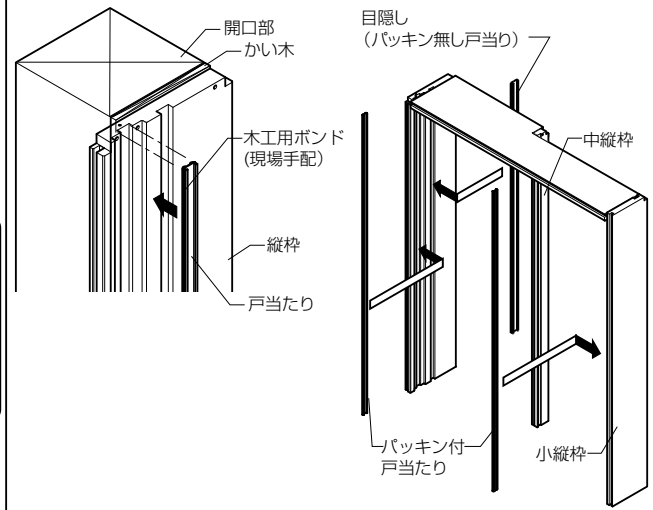


■3枚連動

⑩ 戸袋側上レールのストッパーを設定位置にスライドさせ、ドライバーで固定してください。



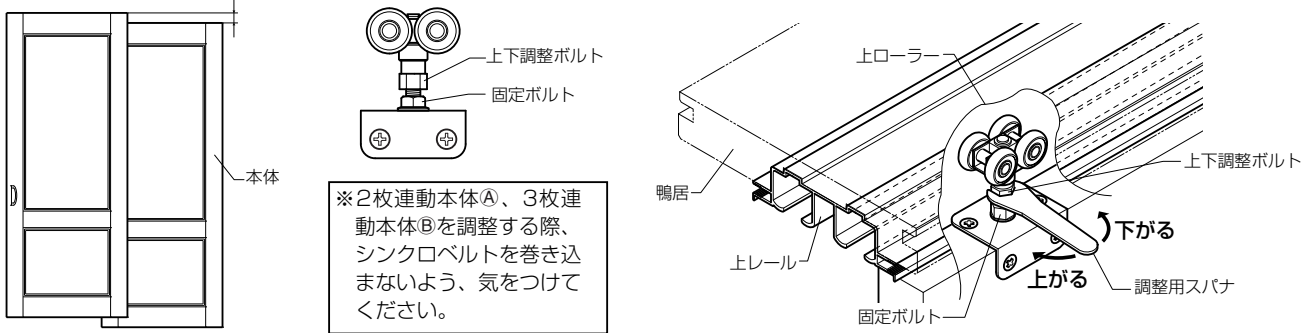
⑪ 戸当りに、木工用ボンド(現場手配)を付けて、溝をふさぎます。



■7 建付け調整

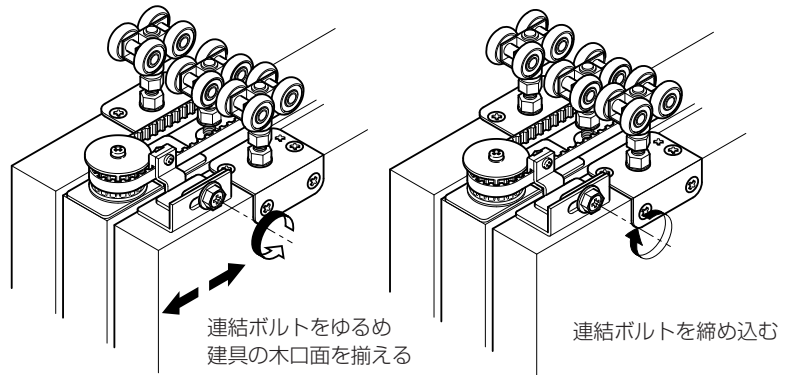
■上下調整 (調整幅+3mm、-3mm)

本体が段違いになった場合は、左右の上ローラーの固定ボルトをいったんゆるめ、上下調整ボルトを付属の調整用スパナで回して調整してください。調整が終わったら、必ず固定ボルトを締めつけてください。



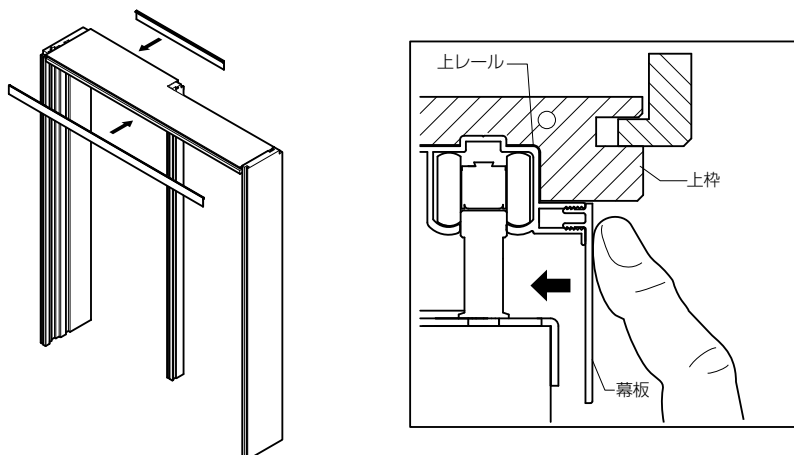
■連動位置調整

建具を全開にしたときに3枚の建具が揃わない場合、連結ボルトをゆるめ、建具の木口面を揃えてから再び連結ボルトを締め込んでください。



■8 幕板の取付け

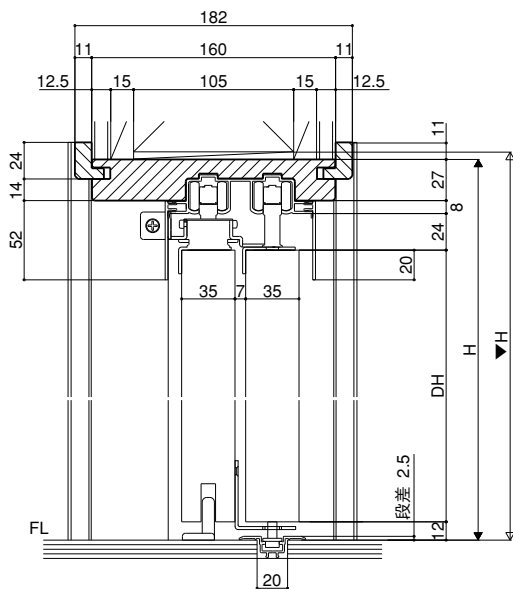
取付け前に必ず幕板の長さを確認して上枠と同寸法になっているか確認してください。長い場合は必ず同寸法になるように切断してください。上レールの溝に、幕板を端から押し込み、取り付けます。押し込みが固い場合は、幕板に当て木をして、ハンマーなどでたたき込んでください。



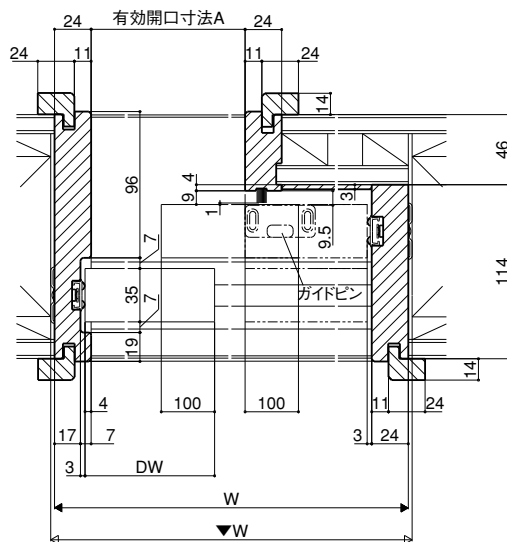
●お願い
●ハンマーなどで幕板を直接たたき込まないでください。

間仕切り2連引戸ユニット ケーシング付

縦断面



横断面



形材一覧表

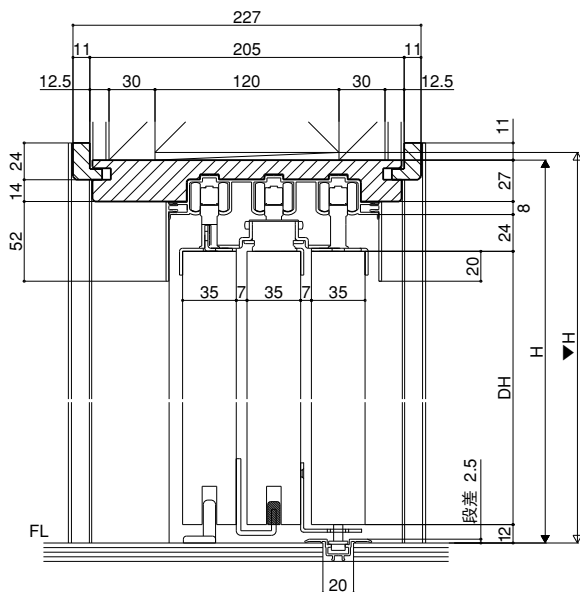
部材名称	形材番号	枠幅寸法
縦枠	2157	164
小縦枠	2197	116
中縦枠	2163	52
鴨居	2154	160
下レール	2226	44

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W25(2472)	1546

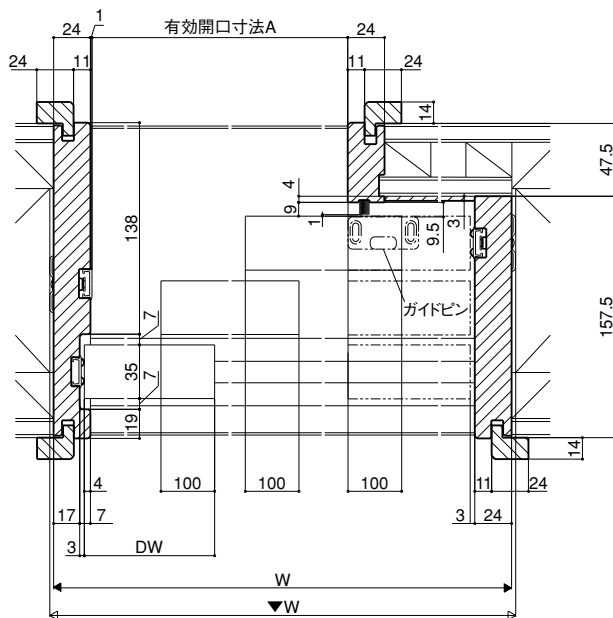
基本寸法 (mm)	W呼称	25
	W (DW)	2472(875)
	H呼称	23
	H (DH)	2306(2235)

間仕切り3連引戸ユニット ケーシング付

縦断面



横断面



形材一覧表

部材名称	形材番号	枠幅寸法
縦枠	2199	206
小縦枠	2200	158
中縦枠	2163	52
鴨居	2198	202
下レール	2226	44

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W32(3247)	2320

基本寸法 (mm)	W呼称	32
	W (DW)	3247(875)
	H呼称	23
	H (DH)	2306(2235)